（様式－３）

送 電 線 工 事 災 害 報 告 書 （再発防止対策書）

関東支部

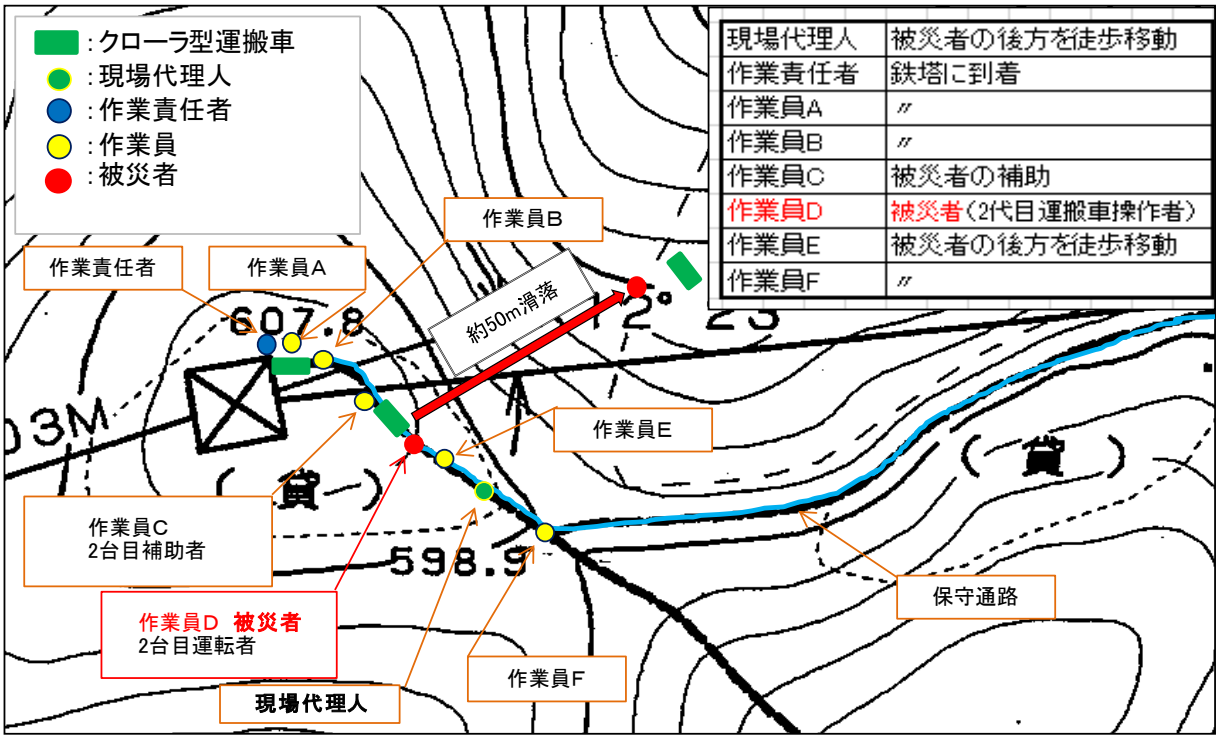
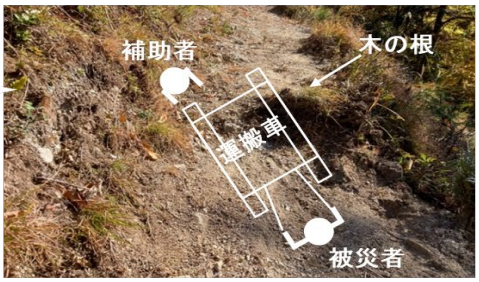
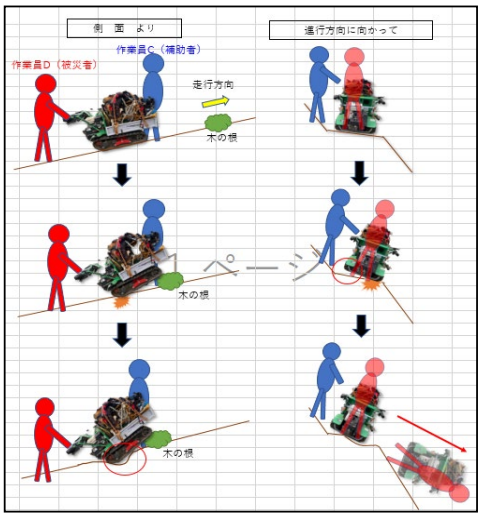
発生日時	令和４年11月３日（月曜日）　９時05分頃						天　候		晴れ	
災害の程度	死亡－名	負傷１名	職種：架線作業員				年令67歳		経験年数44年	
工事の種類	調査測量	伐　採	運　搬	仮　設	基　礎	組　立	足　場	架　線	撤　去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原　　因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設　　備	電圧　kV	回線	電線　－　mm² 単導体			地線　－　mm² 条				

災害の状況	件名	運搬車で資機材運搬中，木の根に乗り上げバランス崩し滑落し負傷
	被災者(運転者)は，電線補修用機材を積載したクローラ型運搬車を操作し，保守用通路(幅72cm)を走行中，路肩の木の根に乗り上げバランスを崩した運搬車とともに，約50m滑落し負傷した。 バランスを崩した直後，補助者は前方を抑え，被災者はハンドルを握った状態で姿勢の立て直しを試みたが改善に至らず，被災者は滑落し始めた運搬車のハンドルを手放すタイミングを逸した。 ・クローラ型運搬車（アテックスXG355H） 最大積載：350kg　機体寸法：全長1670mm×全幅680mm×全高885mm　機体質量：175kg ・積載していた電線補修用機材質量：約150kg（圧縮機，レバーブロック，墜落制止用器具器具他） ・保守用通路勾配：約21度，滑落した谷側斜面勾配：約44度 [被災程度]腰椎脱臼骨折，頚髄損傷 [服装装備]作業服上下，安全帽，安全靴，皮手袋	
原因及び対策	1.災害発生の主原因 (1)現場代理人及び作業班長は，クローラ運搬車が安全に走行できるよう，保守用通路の整備や危険表示を怠った。 (2)被災者(運転者)は，路肩の木の根を回避できなかった。 (3)被災者は，バランスを崩した後も手を離さなかった。(離せなかった？) 2.再発防止対策 (1)現場代理人及び作業班長は，事前※に，クローラ運搬車の走行に危険を及ぼす箇所を把握し，整備(障害物除去，均し，土嚢積みなど)や危険表示(旗，ペンキなど)など適切な措置を講ずる。 ※事前とは運搬車走行前のことで，作業工程によっては，整備資材を運搬車に載せ，整備した直後を走行するケースもある。また，走行によって路面を壊す場合もあり，走行の都度確認することが重要である。 (2)クローラ運搬車の運転者は，危険個所を発見した場合，走行を一旦停止し，徐行，迂回等の安全な方法により走行する。安全な走行が不可能と判断した場合には，その旨を作業班長に申し出て対応を協議する。	

（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし，「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。
2.災害状況の説明と共に，なるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物，電線の離隔距離その他寸法を記入する。

災　害　概　要　図

［作業配置図］



現場代理人	被災者の後方を徒歩移動
作業責任者	鉄塔に到着
作業員A	〃
作業員B	〃
作業員C	被災者の補助
作業員D	被災者（2代目運搬車操作者）
作業員E	被災者の後方を徒歩移動
作業員F	〃